

式辞

春爛漫、桜花咲き誇り、若葉の光も、一段とさわやかさを増し、新入生の皆さんを、心から、歓迎してくれています。

早朝より、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席をいただき、二〇一四年度、七〇期生の入学式を挙行できますこと、心から感謝し、厚くお礼申しあげます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。

今日から住吉中学校の生徒です。

本校入学を契機として、新しい自分を探す旅の始まりです。中学の3年間を、実りあるものにするために、一日一日を大切に過ごして欲しいと願っています。

さて、住吉中学校では「思いやりの心を育て、人にやさしい学校」をつくりましょう。皆さんに2つのことをお願いしています。

一つ目は、住吉中学校で、何を学習するのか、真剣に考えてみてください。学習の大切さは言うまでもありません。

友達と過ごす時間も、大切にしてください。

そして、部活動にも積極的に参加し、先輩・後輩の人間関係も学んでください。

生徒会や委員会活動にも参加し、新しい住吉中学校をみんなの力でつくりましょう。

2つ目は、君たちの顔がひとり一人、違うように、

考え方や、体つきも違っています。

体の丈夫な人・障害のある人・力の強い人・弱い人、いろいろな、

個性のある人が集まって、学習するところが、

この住吉中学校です。

相手のことを考え、行動できる生徒に育ってほしいと願っています。

互いの個性を尊重し、違いを認め合う集団をつくりましょう。

今日からみなさんは「人にやさしい学校、人にやさしい心」を育てるために、在校生の皆さんと、一緒に取り組んでいきましょう。

保護者の皆様、私は目標として「人にやさしい生徒・人にやさしい住吉中学校」づくりを目指し、積極的に取り組んでまいります。

そして、本校職員と一丸となって、学力の向上に努めてまいります。

しかしこれは、保護者の皆様のご協力なくしてはできません。

どうぞ、絶大なるご支援をお願いいたします。

一人一人の個性を大切にした教育を、学校・家庭・地域が一体となって、ともに育てていきましょう。

よろしくお願いいたします。

簡単ですがございますが祝辞といたします。

二〇一四年四月四日

大阪市立住吉中学校
校長 村瀬香織